



バス車内にポスターを掲示する
海星学院の生徒

東北の被災地支援を

室蘭・海星学院高生徒がPRポスター

道南バス車内に掲示

7月5～9日に東日本大震災の被災地、岩手県釜石市でボランティアに従事した室蘭・海星学院高校(堺嶋崎昌行所長)を訪れた。

生徒たちは被災地支援を呼び掛けるポスターをバス車内に掲示した。

釜石市を訪問したのは1、2生5人で現地住民の話や聞く傾聴ボランティアを行った。生徒たちは一人1種類ポスターを作った。現地で撮影した写真をバックに、「前よりいい町にするために」などのスローガンを記載した。300枚を配布し、バス70台に貼り出される。

生徒たちは一人ずつ、ポスターに込めた思いを説明。同営業所の佐藤渉副所長に手渡した。その後、ポスターを車内に貼った。

小森萌華さん(2年)は「被災者は支援に頼るだけではなく、自立した生活を送りたいと考えていることをもっと知ってほしい」と訴えていた。

(池田勇人)